

令和6年11月

袋井市議会定例会

代表質問通告内容

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。
Yahoo! や Google などの検索画面から
袋井市議会を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ

携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

袋井市議会

代表質問通告議員

実 施 日 時	質問順	会 派 名 議 員 名	質問形式	ページ
1 2 / 3 (火) 午前	1	市民クラブ 立石 泰広	一括	3
	2	緑風会 近藤 正美	一括	6
1 2 / 3 (火) 午後	3	自民公明クラブ 佐野 武次	一括	9

質問順序	1	会派名	市民クラブ	質問者	立石 泰広
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
1	政治姿勢 予算編成方針 令和7年度の予算編成上の留意点として、全事業の見直しによる効果的・効率的な財源配分を掲げ、見直しの手法として、改善の4原則E C R Sを使うとしている。今回、この手法を用いるに当たって基本的なことを伺う。 (1) 市では裁量の大きい事業、302事業、34億円程度を中心に、縮小や廃止をしようとしているが、この302事業とはどのようなものか。 (2) 現在の事業、いずれも重要な事業だと認識しているが、今後、廃止や縮小をしなければならないものの基準をどのように考えているか。 (3) 枠配分方式から1件査定方式へ変更するということだが、今までと何をどのように変えるのか。 (4) 令和7年度から10年間の財政見通しに触れて、財政調整基金の取り崩しが3年間で7億円余り記載されている。10年以内には大型事業も予定されており、本市の財政見通しをどのように考えているか。 (5) ふるさと納税は、令和5年度寄付額12億8,000万円余、実収支で4億円余の収入だった。今後さらなる取組を期待するが、その戦略を伺う。				市長
2	政治姿勢 市長の1期目の3年半を振り返って 令和3年度の選挙戦における市長のマニフェストや、これまで議会での一般質問を受けて市長から市民に向けてさまざまな考え方が示されてきた。そこで重要と考えられる点を拾って伺う。 (1) 企業誘致や新事業の創出、製造品出荷額等の目標達成状況については、振り返って、どの程度実現できたか。				市長
	(2) I C Tを活用した子供たちの人間力・課題解決能力の育成については、その思いは実現できたか。反省する点はないか。 (3) 図書館、児童館、保育士奨学金制度についてはどの程度実現できたか。 ア 世界のデータベースへのアクセス、電子書籍などデジタルコンテンツの活用など、新しい時代の図書館の在り方を、新設を含め研究する。 イ 浅羽支所は、にぎわいの拠点施設とする方向で、児童館の要素を取り入れた施設として利活用が図れるよう検討する。 ウ 市において、県の制度の周知とともに、奨学金制度の効果や保育士確保に資する支援制度を検討する。				教育長
3	政治姿勢 地方創生 石破内閣が誕生して、2カ月になろうとしているが、所信表明演説で「これまでの反省と成果を生かし、地方創生2.0として再起動させる」との方針を打ち出した。そこで、本市の地方創生について伺う。 (1) 国の方針を受けて、袋井市の第3期の地方創生を、どのように組み立て計画策定していくのか。				市長

	(2) 「第2期輝く”ふくろい”まち・ひと・しごと創生総合戦略」 ア 総合戦略全体で73指標を掲げて目標管理を進めているが、第2期総合戦略の取組をどのように総括しているか。 イ 総合計画では、政策や取組に各指標を掲げて、その進捗状況について4段階の評価をしているが、地方創生の取組指標と総合計画の各指標との整合は、どのように図られているか。 ウ これまで袋井市は地方創生に係る交付金は国からいくら頂いたのか、その費用対効果、成果を伺う。	
4	政治姿勢 デジタル 本市では、令和5年度までの「第3次袋井市ICT推進計画」を継承・アップデートした「第1次袋井市デジタル推進計画」（令和6年度～10年度）を令和6年4月スタートさせた。そこで、本計画の展開について伺う。 (1) 本市におけるフロントヤード改革では、どのように進めようとしているのか。浅羽支所の「らくらくサポート窓口」利用のメリットはどうか。 (2) 本計画の中には、デジタルリテラシー向上など、16の施策がうたわれている。これらの施策の推進には、多額の事業費も見込まれる中、市としてどのような目標を定めて推進していくか。 (3) 本市には、デジタル戦略官、デジタル専門官と呼ばれる人材が4人活躍している。それぞれが担当する業務の状況はどうか。 (4) 本市における現在のAIの導入・活用状況はどうか。また、今後どのようなAIの活用が期待できるか。	市長
5	中小企業振興 先の9月議会において、本市の中小企業及び小規模企業振興基本条例が制定され、来年1月から施行される。中小企業等の事業者・働く皆さん双方に心強い大きな支えになる。そこで、今後の施策展開について伺う。 (1) 本市では既に中小企業等にさまざまな施策を展開しているが、この条例の施行を機に、令和7年度、新たな施策の事業化をどう考えているか。 (2) 商工団体の要望や意見などを踏まえ、令和7年度の中小企業支援をどう考えているのか。 ア 袋井市中心市街地等空き店舗対策事業 イ 袋井市特産品開発事業費 ウ 個店の魅力の発見と発信事業 エ 浅羽地域での空店舗の紹介やチャレンジショップの開設 オ 市内中小企業における人材確保への支援 カ 事業環境変化及び物価高騰対策への支援 キ 小規模事業者の課題解決DX推進支援 (2) 労働団体の要望にどのように対応するのか。 ア 令和8年の障がい者法定雇用率引き上げに向けた事業所と求職者のマッチング、障がい者が働きやすい環境の整備支援 イ ワークライフバランス等職場環境の改善支援 ウ ハラスメント防止に関する法改正の趣旨や防止策の周知	市長

6	子育て支援施策（小松市視察から） 小松市では「子育てするならダントツ小松市」のキャッチフレーズで、市長を先頭に、充実した子育て支援を市外に積極的にPRしている。そこで、小松市の視察で学んだことを元に、袋井市の子育て支援施策に提案する。 (1) 下記4事業は、袋井市にない小松市独自の子育て支援事業であるが、袋井市でも導入可能と考えるがどうか。 ア 赤ちゃん紙おむつ定期便（生後3カ月～1歳、毎月1回） イ 妊産婦タクシー利用料金助成（3,000円券4枚） ウ 子どもの任意予防接種費用助成（～高校、おたふく風邪以外も対象） エ 給付型奨学金支給（高校・高等専門学校、5万円/年、返済なし） (2) 小松市では、子育て施策をペーパー1枚にまとめてPRしている。袋井市では教育委員会の事業も、小松市では市長部局で一元管理している点は、今後袋井市でも参考にすべき点と考えるがどうか。	市 長 教育長 市 長
---	---	--

質問順序	2	会派名	緑風会	質問者	近藤 正美
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
1	令和7年度当初予算編成方針について 令和7年度に向け、市長、私たち市議会議員も任期の最終年度の予算編成となる。新年度予算編成の基本的な考え方について伺う。また、現在全部局において予算要求・編成を行っていると思うが、一般会計及び特別会計予算編成時の考え方、留意点、概算の予算規模について伺う。 (1) 昨今の物価高騰や自然災害の頻発化、激甚化に加え、今後の人口減少社会への対応が求められるが、社会の潮流をどのように受け、捉えているか伺う。 (2) 予算編成方針に掲げた「政策立案3つの視点と3つの手段」により、各分野別の重点項目を遂行するうえで、特筆すべき予算編成上の留意点は具体的にどのようなものか伺う。 (3) 令和7年度の一般会計当初予算の概算フレームはどの程度か伺う。				市長
2	本市農業振興ビジョンと本市農業振興地域整備計画について 農林水産省は持続的生産強化対策事業として、令和7年度予算概算要求額165億8,400万円と多くの予算を要求し、生産強化を目指している。そこで本市の農業振興ビジョンの基本政策について伺う。 (1) 多様な担い手育成・確保について ア 本市農業振興地域整備計画では、学校教育機関と連携し農業教育の取組を支援するとあるが、具体的にどのような取組が行われているのかその効果を伺う。 イ 学校教育機関に大学の記載がないが対象外か。 ウ 同計画では、農業就業者育成のための施設は該当なしとなっているが、「茶ピア」の活用は検討できないか。 (2) 荒廃農地の発生防止と再生利用について ア 農地転用許可制度の運用や農業法人などへの集積による再生などの取組も重要であるが、都市農業や有機農業・低農薬農業など持続可能な農業など、新しい農業モデルを導入して有効活用を図ることも必要と考えるが所見を伺う。 イ 地域の耕作者や農地の所有者が一体となって、荒廃農地の発生防止と再生に取り組むことが重要で、教育や啓発活動を通じて、地域全体の意識を高めることが必要と考えるが所見を伺う。 (3) 多様な流通・販売チャンネルの開拓について ア 食品産業や小売店・飲食店との取引開拓を図るとあるが、まずは流通業者の力で販路などのマーケティングを行うことが必要と考えるが所見を伺う。 イ 海外市場への開拓には、T P Pによる価格競争に対抗するため、独自のブランド化や品質の高い農産物の生産を促進し、高付加価値商品の開発を通じてブランド力を強化し、価格競争に対抗することが必要と考えるが所見を伺う。				市長

3	農業における事業継承について 農業の始め方には、親元就農、土地を購入または賃借して新規就農、農業法人への就職などさまざまな方法がある。今回取り上げる事業継承による新規就農もその一つではないか。跡継ぎがおらず農業を辞めようと思っている人、事情により土地を離れなくてはならず、代わりの人を探している人、このような人から事業継承をすることで、スムーズに農業を始められるのではないか。このことから、来年度の予算を編成するにあたり、本市としても支援できることがあると考え、本市の考えを伺う。 (1) 現在、クラウンメロン支所で行われている栽培技術の継承事業を市内全作物に展開できないか。 (2) 農協など関係各所との連携や、マッチングも重要になると考えるがどうか。 (3) 農業の経営安定には時間がかかることから、国や県で行われている支援制度が終了後も、市単位で支援を行うことはできないか。	市 長
4	「稼ぐチカラ」の向上について 「稼ぐチカラ」の向上は、本市における最重要課題の一つであると考えている。市内経済を牽引する産業の促進や市内消費の活性化等に向けて、さまざまな取組が展開されてきたが、市内企業のさらなる活躍や市内経済の好循環による企業の「稼ぐチカラ」と住民所得向上について、本市の考えを伺う。 (1) 市内の「稼ぐチカラ」を支える産業の生産性を高めるため、市内企業への投資をより一層促進していく考えはあるか。 (2) 市外への消費流出を抑え、市民の市内消費を喚起・促進させるための具体的な取組についてどのように考えているか。 (3) 市外に多くの所得が流出している（市外に依存している）産業の強化をどのように図っていくのか。	市 長
5	大場市政4年間の総括と今後の抱負について 大場市政がスタートして早いもので4年目も後半になった。この間のできごとで、特に新型コロナウイルス感染症の蔓延やコロナ禍での対応に、当局は市民の安全安心のための的確な支援策を打ち、また温暖化による異常気象や豪雨災害、台風などへも迅速に対応し、市長にとって大変な舵取りであったと拝察するが、市政に対し統率力・経営的手腕を遺憾なく発揮されたと評価する。 (1) 大場市政4年間の総括と自己評価について 市長が公約に掲げた各取組の達成度をはじめ、4年間の市政運営をどのように総括し、それに対する自己評価について市長の見解を伺う。 ア 市長公約の達成度を伺う。 イ 公約以外の取組を踏まえ、4年間のこれまでの市政運営を市長ご自身がどのように総括し、また自己評価するのか見解を伺う。 (2) 残された課題や今後注力すべき事業について 公約の達成度や政策評価結果を踏まえた本市の課題認識のほか、本市がさらなる発展に向けて、今後どのような取組が必要と考えるか、市長の見解を伺う。	市 長

	ア 高齢化と人口減少社会など、新たな地域経営が求められている局面にどう対処するか。 イ 持続的発展可能なまちづくりには、財政規律の確保と未来への投資が必要と考えるがいかがか。 (3) 次期市長選挙に向けた出馬の意向について これまでの市政へのさまざまな施策や取組を踏まえて、本市の明るい未来に向け、今後どのような取組が必要と考えるか。市長ご自身の今後への抱負を伺う。	
--	---	--

質問順序	3	会派名	自民公明クラブ	質問者	佐野 武次
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
1	財政状況の見通しに係る人材育成に関して伺う 持続可能なまちづくりを進めていく上では、職員の育成が何よりも大切である。今後の人材育成に向けた市の考えを伺う。				市長
2	一つ目の重点目標「子どもがすこやかに育つまちの推進について」伺う (1) 子育て分野について 切れ目のない子育て支援の観点からの子育て支援施設について ア 「子育て支援センター」は、出生率の低下等により利用者の減少が続いていくものと思われるが、この要因をどのように捉えられているのか。 イ 「子育て支援センター」を必要とする乳幼児や児童の数は、どのように推計されているのか。 ウ 既存施設の受入人数は、量的に充足している状態にあるのか。 エ 改正児童福祉法の施行により「こども家庭センター」の設置が求められているが、今後、「子育て支援センター」に求められる機能や役割分担やその位置付けに加えて「こども家庭センター」の設置に向けて、想定される当面の課題と整備体制のイメージは、どのように考えているか。 (2) 教育分野について 部活動の地域移行に伴う検討状況について ア 子どもにとって魅力となる活動とすることが必要である。この点について、協議会ではどのような意見があり、何に重点を置いて進めていく考えであるのか伺う。 イ 部活動を通じて培われてきた、先生に対する親和性や信頼性などは、どのように担保されていくのか伺う。				教育長
3	二つ目の重点目標「健康長寿で暮らしを楽しむまちの推進について」伺う (1) 福祉分野について 高齢の障がい者への対応について 地域生活支援拠点等の設置に向けて、令和8年度に整備するとしているがその進捗状況は。 (2) スポーツ分野について スポーツを通じた地域の活性化について 各施設の魅力を内外に伝え、滞在日数の増加を図っていくためには、絶えず情報の発信や官民連携によるスポーツ合宿等の誘致が必要。どのような情報発信や官民連携を進め、どんな効果が生まれているのか伺う。				市長
4	三つ目の重点目標「快適で魅力あるまちづくりの推進について」伺う (1) 都市分野について				市長

	ア 暮らしたくなる都市拠点の創出に向け、官民連携による袋井駅周辺エリアの魅力あるまちづくりの実現について 駅北地区の活性化に向け、まずは安全な歩行環境の確保や市民の健康増進に向けて、歩道の再整備の検討を進め、回遊性の向上を促しつつ、暮らしたくなるまちの魅力の向上を図ることが必要と思うが、市の考えを伺う。 イ 既存宅地の空き地に関する土地利用上の指導について 空き家や工場跡地などは、どのような事業用地として利用されるのか把握することは難しく、事後に問題となることがある。土地利用指導要綱の一部改正や新たな条例の制定など、何らかの形で地域を守る方策を検討していく必要がある。市の考えを伺う。 ウ 森町袋井インター通り線について (ア) 令和5年度は測量調査を、令和6年度からは地質調査や軟弱地盤対策、予備設計を行う予定とされている。その進捗状況について伺う。 (イ) 沿線地域の今後の土地利用方策について、調査研究を進めていくべきと思うが、市の考えを伺う。 (2) 環境分野について ア ゼロカーボンシティへの取組について (ア) 電力提供サービス契約を締結した鈴与商事株式会社から本市に無償譲渡される太陽光発電設備の耐用年数は概ね20年程度と思われるが、将来的に発電を要する場合は、設備の更新と許可が必要と思うが、当該設備の将来的活用に関しては、どう検討されているか伺う。 (イ) 老朽化した発電設備は、国でもリサイクルはじめ廃棄処理等に関して検討を進めているが、市内では太陽光発電設備を活用している住宅等も多く、今から設備の処理方法などを検討すべきと考えるが市の考えを伺う。 イ 下水汚泥を活用したバイオガス発電の可能性調査の進捗状況と課題等について 令和6年度の施政方針で、下水汚泥を活用したバイオガス発電可能性調査に取り組むとされている。この取組状況を伺うとともに、バイオガス発電を行う場合に、どのような課題等があると認識されているか伺う。 ウ 家庭系可燃ごみの削減「ふくろい5330（ごみさんまる）運動」の中間総括について (ア) 残り15%の削減に向けては、どのような点に焦点を当て、どんな対策を進めていく考えか伺う。 (イ) 収集ごみでは、紙ごみの組成割合が47%と非常に大きくなっている状況にあり、さらに有効な対策をとっていく必要があると思われるが、どのように考えているのか伺う。 (ウ) 紙ごみの削減対策のうち、紙おむつのリサイクルに向けた検討が行われているが、その後の進展状況について伺う。 (エ) 目標達成が不可能と見込まれた場合、ゴミ処理の有料化、すなわち「ゴミ袋の値上げ」を再度検討していく方針であるか伺う。	
--	---	--

5	四つ目の重点目標「活力みなぎる産業の推進について」伺う 【産業の振興】 (1) 商業の振興について 市民生活を支援し、消費行動を促すとともに、商業者の支援と事業発展につなげられる「ふくろい応援商品券」事業は、今後、国の補助に頼らずに、引き続き実施していく必要があると思うが市の考えを伺う。 (2) 工業振興に係る企業誘致等について ア 企業立地基礎調査資料を活用し、どのような企業誘致活動を行ってきたか。また、見えた課題について伺うとともに、企業の退出により、未利用地となっている工業用地は、どのように対応されていく考えか伺う。 イ イノベーションセンターをはじめ、起業家やその志向の高い方々が集う場を創出するところを、「まち中」に移転させていくことも必要と思うが、今後の考え方について伺う。 (3) 観光振興に係る取組について ア 袋井市観光基本計画に掲げた、ホームページ等のアクセス数並びに一人当たりの旅行消費額の指標の進捗状況について伺う。 イ「海のにぎわい創出プロジェクト」と連携した、新たなテーマ性を持ったサイクルツーリズムの推進は、どのような取組を考えているのか伺う。 (4) 農業の振興について ア 夏の高温対策として、米作りでは用水から水田に水を引き入れる期日を前倒し、植え付けを行うことができ得る対策が必要。天竜川下流用水協議会で取り上げ、農林水産省に要望を行うべきと思うが、市の考えを伺う。 イ 温室メロンは、夏場の光熱費への支援などの何らかの対策は考えられているのか伺う。加えて、主要作物の高温対策については、その他の対策等を持っているか伺う。 ウ 農業の担い手確保について、クラウンメロン経営継承支援事業は、親元就農した場合には制約があり、この制約を軽減することも必要である。また、支所が管轄する市町が広域的に連携し、本制度の推進を県に要請すべきと考えるが、市の考えを伺う。 エ お茶の振興について、茶園を借用し生産規模の拡大を進めてきたが、さまざまな事由から、返還する事態も出始めている。こうした茶園への新規作物の導入など、茶園の利活用について、どのような検討をされているか伺う。 オ 農業の経営形態について、個人や集落営農における農業経営形態の一つとして法人化を提案するとともに、補助制度なども併せて検討すべきと思うが、市の考えを伺う。 カ スマート農業について、効率化を図っていくためには、作付農地をさらに集積していくことが必要であると思うが、利用権設定事業等との調整については、どのように進められているか伺う。また、スマート農業の推進に向けて、補助金などを活用した今後の振興方策について伺う。 キ 荒廃農地の解消について、「アクタバ」による荒廃農地の解消確認面積と耕作放棄地対策事業費補助金の対象面積との違いについて伺う。また、集落内の小規模農地をはじめ社会動向から荒廃地となっている農地は、農用地利用計画の見直しも必要と思うが、どのように考えているか伺う。	市 長
---	---	-----

6	五つ目の重点目標「安全・安心に暮らせるまちの推進について」伺う	市 長
	【危機管理分野】 危機管理分野について (1) T（トイレ）K（キッチン・食事）B（ベッド）を48時間以内に整えることを目標とするTKB４８の計画的な推進を提案する。市の考えを伺う。 (2) 迅速かつ適切な避難行動につなげるためのシステム導入について、河川のライブカメラの増設や、河川水位や雨量等の気象観測情報をはじめ地域の被災状況を、あらゆるツールを活用し、市民がリアルタイムで把握できるシステムを構築していくことが必要。どのように考えられているのか伺う。 (3) 海の安全確保について、磐田市とも連携し、海の安全性のさらなる向上を図るため、福田港に水上オートバイ等を備えた活動拠点を整備することなどを検討することを提案するが、市の考えを伺う。	
7	六つ目の重点目標「市民がいきいきと活躍するまちの推進について」伺う	市 長
	【協働・地域分野】 (1) 自治会のDX化について 自治会連合会長並びに自治会長のDX化は進められているものの、いまだに紙ベースでの書類提出が多いと伺った。自治会長の事務負担の軽減や業務の効率化に向け、今後における自治会のDX化を、どのように考えているのか伺う。	市 長
	【歴史・文化分野】 (2) 袋井市こども交流館あそびの杜について 基本計画における基本理念を実現する施設とするために、どのような点に配意されたのか伺う。	教育長
	【国際交流・共生分野】 (3) 外国人との共生社会の確立に向けての考え方について ア 地域が受け入れる上で難しいことは「言葉の壁」であることから、コミュニティセンターへ自動翻訳機を複数台備え、自治会に貸し出すなど、地域のコミュニケーションツールとして使用することを提案するが、市の考えを伺う。 イ 外国の方が住み・暮らしていくためには、文化の違いから生じるルールやマナーについて啓発し、認識を深めることが必要。現在どのような方法で周知・啓発されているのか伺う。	市 長
8	任期満了に伴う大場市長の去就について伺う	市 長
	来年、市長は改選を迎える。いまだに達成し得ていない諸問題や事業等々、積み残した課題もあるかと思う。これらを履行していくために、引き続き、身を賭し、全身全霊を持って、改めて市政に挑戦していく覚悟であるのか、市長の去就について伺う。	